

百味講たより

令和5年12月発行
発行所大本山増上寺
百味講講報企画部
発行者 山本築老和

第27号



小林 正道
大本山 増上寺 執事長

伝統、そして開宗八五〇年

百味講の皆さまにはご栄祥のこと、お慶び申し上げます。

小澤憲珠台下が入山され、執事長を拝命し、新内局が発足して、1年余が経ちました。明年、いよいよ法然上人浄土宗開宗850年の慶讃の年を迎えるにあたり、内局一同気を引き締め、山務にあたる所存でございます。

百味講の皆さまには御忌大会はじめ、諸行事を中心としてご協力を賜っており改めて御礼申し上げます。

私は、芝山内に生を受け、焼け跡の姿がまだまだ残っている芝公園で育ってまいりました。日比谷通り沿いの今の慈雲閣の場所にあった明德幼稚園に通い、三門の他はほとんど焼失した増上寺を見ておりました。

そのような時代、全ての人が貧しい中でも、増上寺の伝統を守り、小規模ながら絶えることなく儀式行事を行い、伽藍を整えていかれた先達の思いに、いつも心を馳せます。大変なことだったと思います。根本を尊び、こつこつと積み重ねてくことの重要さを感じます。

戦後のことのみ述べましたが、苦難は歴史上多

くあったことはいうまでもありません。

その中で、江戸時代からの歴史ある百味講の先人方も、懸命にお山に力を尽くし続けてくださったのでしたのです。

こうして伽藍が整い、年々参詣の方々の数も増加していき、儀式行事の規模も大きくなりました。

いつも大殿や東京タワーを仰ぐにつけ、先人方に感謝し、増上寺の他にはない伝統を護り、かつ、さらに未来にむかってこの難しい時代に人々にやさらぎや人として生きていく意味を見出してことをより感じていただける場所にしたと、決意をあらたにしております。外国人の方も多くなってまいりました。全国、世界に向かって発信してゆく増上寺を更に進めていきたいと思えます。

それには法然上人が説かれたお念仏の教えがもととなることは言うまでもありません。その信念をあらたにし、皆様と共に、増上寺の存在意味を掲げること、あるいは増上寺に求められていることを、少しずつの実現して行きたいものです。

百味講の皆さまのご健勝をお祈りし、改めてご尽力を切に願います。

合掌



「コロナ禍とポエム」

ポエム洋菓子店 安部 嘉祐

増上寺様には日頃より三縁クッキーを納めさせていただき大変お世話になっております、ポエム洋菓子店の安部嘉祐でございます。さて、この度の寄稿に際しましていったい何を書けばよいのか大分悩みました。そこで、青天の霹靂ともいえるコロナウイルスについてお話ししたいと思います。

今から三年前の2020年、悪夢のような（そのときはまだ悪夢とは思っていません）ニュースが流れてきました。「中国の武漢で新型のウイルスが発見されました。」と、どうせまたSARSやMARSのように日本には来ないだろうと高を括っていました。ところがその波はあつという間に足下まで押し寄せてきました。

1月、国内初の感染者。
2月、ダイヤモンドプリンセス号。

マスク不足にトイレレットペーパー不足。
3月、オリンピック延期。

4月、御忌の中止、ついに緊急事態宣言発令。当然当社にとっても他人事ではなく、一時は全く仕事が無くなり朝起きて何もやることがないのでテレビをつければコロナのニュースばかりでどんどん気が滅入る。増上寺様も安国殿の閉鎖、取引先のホテルも婚礼やパーティの延期やキャンセル、ほぼ閉鎖状態でした。

街には人が消え、車も激減。こんな状況がいつまで続くのか不安でしかありませんでした。

世に言う会社は三代目で大きくするか潰すかだと。このままでは間違いなく後者です。倒産です。

そんな窮地を救っていただいたのが持続化給付金や一時支援金の支給。なお、増上寺様におかれましては変わらぬご用命賜り、オンライン販売も始めていただき大変感謝しております。

しかし苦しい状況はその後も続き、波は押し寄せては引き、押し寄せては引きの繰り返し状態が2年以上は続いたでしょうか、かろうじて耐えてきました。

やっと最近では2類から5類へ移行という政府決定もあつてか、抑制されていた反動もあるのでしょうか、街には人が溢れ、インバウンドもコロナ前にだいぶ近づいてきている気がします。

このまま終息し今後このような未曾有な出来事が起こらぬよう切に願います。



コロナ禍の
人気のない様子





「三代に亘って百味飲食 に生かされて」

古島 浩

祖父、熊吉は慶応元年生まれ。

現在の豊島区雑司ヶ谷の洗い張り屋長男として生まれましたが、縁あって、家を出て、浄土宗法衣店の遠徳法衣店に入店。しばらくして酒屋に職を替えましたが、配達先で「お前は三河の出か」と言われて憤慨に堪えず、酒屋を離職したそうです。

その後、当時増上寺総代並みにご盛況だった両替商、その他大門通りで浄土宗大本山御用達の太田法衣店に入店し、腕を磨き、明治20年頃独立。塔頭の浄運院内の家作にて商売を始めました。百味講との縁もその頃からだと思われまます。そして、法然上人が開かれた浄土宗の法衣店としてご縁を結び、現在三代にわたり百味飲食に生かされております。

我が百味講は、江戸時代の増上寺御忌行列の錦絵にも描かれている歴史成る講です。

戦後わが家業は、父鐘次郎しょうじろうが昭和二十四年四月頃から家業を再開致しました。百味講も御忌大会再開と共に再出発したと思われまます。

私が百味講の御忌行列に初めて出仕したのは昭和三十三年四月七日。桜吹雪の中をすむお練り行列でした。当時は旧安国殿が本堂で景光殿が書院だったと思います。裸電球の釣つてある中を行列して、百味飲食を供した思い出があります。過日、得意先の式衆方が「増上寺も掃除が行きどかないから、新しい足袋ではなく洗ったものを持っていく」という逸話ばなしを聞きました。

その後、御忌七百五十年記念事業として増上寺会館が建立し、法然上人のお徳を偲ぶ七百五十年記念法要も行われました。百味講はというと講員はやつと八社。阿弥陀様、法然上人にお供えする百味の珍味を捧げ持つ出仕者も手

いっぱいだった事を今でも覚えております。

「法然上人、京から箱根山を越える」

大本山増上寺では、八百年御忌記念事業の一環として、宗祖法然上人の「お身柄」の一部を京都総本山知恩院様より分かち賜りました。大殿での奉安行事に、田中勝道奉賛局執事の先導でお練り行列が行われ、我が百味講は青鈍色あおにびいろの伴天姿に提灯を持ち、花を添えました。

平成十八年十一月二十五日の記念事業でした。また、平成二十三年の法然上人八百年御忌では、総本山知恩院で増上寺縁山流声明法要並びに大本山増上寺お江戸流御忌法要行列をみやこ京都に流布いたしました。

当日は天候にも恵まれ、和順会館から行列は出発。先鋒「金棒」「御忌銘旗」「大傘」を我が百味講が担当を賜りました。「御忌銘旗」の旗持ちの大役を我が息子がさせて頂きました。

五十年に一度の勝縁を頂き、この上なる幸福しあわせを賜りました。

百味講アルバム2023

御忌大会



恒例の集合写真



真剣な面持ち

新年会・納涼会



小林執事長



渡辺部長



笠原課長



山本講元

百味講アルバム2023

京都開宗850年お待ち受け法要



小澤台下の勇姿



奥様と

暑気払い



和やかな雰囲気



新橋亭店主と眞田さん

令和4年度百味講事業報告

自 令和 4 年 3 月 1 日
至 令和 5 年 2 月 28 日

令和4年	3月 4日	講中護持会役員会
	23日	定期総会 「松杉の間」
	4月 4日	定例会、御忌供物準備会「天陽院」
	4月5日～7日	御忌大会（お練行列3座出仕）
	4月17日	地藏尊慶讃大法要、お練参加
	5月8日～9日	研修旅行、新潟方面
	5月15日	正五九祈願会「安国殿」
	6月24日	部長納涼懇親会「銀座治作」
	7月 5日	講中護持会役員会
	7月25日	講中主催内局送別会
	9月15日	正五九祈願会「安国殿」
	9月15日	百味講定例会「文化室」
	10月 7日	課長懇親会「銀座治作」
	10月17日	赤羽部長ご昇進お祝い会「浅草むぎとろ」
	12月 1日	講中護持会役員会
	12月 9日	講報26号発送作業
	9日	百味講忘年会「銀座らん月」
令和5年	1月15日	正五九祈願会「大殿」互礼会「講堂」
	1月20日	節分追儺式事務所開き
	1月26日	新年会部長御接待「銀座治作」
	2月 3日	節分追儺式・行列整備・当り券引換
	2月17日	円山隨身稲荷慶讃法要（二の午）

新講員紹介



芝神明榮太樓
内田 吉彦

この度、入講させて頂きました芝神明榮太樓の内田吉彦と申します。

弊社は、初代内田長吉が日本橋の榮太樓總本舗での修行の後、暖簾分けを許され 明治18年に芝神明町（現在の芝大門周辺）の創業致しました。

増上寺様には、御紋菓をはじめ、和菓子全般を納めさせて頂いております。

宜しくお願い申し上げます。

浄土宗
袈裟・法衣専門

(有) 吉野法衣店

吉野 輝雄

〒160-0012 新宿区南元町17
TEL 03-3355-2168 FAX 03-3355-2204

御袈裟・法衣専門

太田法衣店

太田 祥二

〒121-0076 足立区平野2-15-16
TEL 03-3883-3225 FAX 03-3883-1634

伝統の技
三代にわたる信頼

(有) 古島法衣店

古島 浩

〒111-0041 台東区元浅草4-2-1
TEL 03-3842-1289

総合印刷

(株) エスプリ

阪本 順一

〒135-0033 江東区深川1-6-7
TEL 03-3641-1891 FAX 03-3641-1923

仏壇・仏具

(株) 瑞祥浜田

浜田 明男

〒111-0042 台東区寿2-9-13
TEL 03-3844-9473 FAX 03-3844-5017

表装・額装・襖一式

石森表具店

石森 一

〒108-0073 港区三田1-7-2-102
TEL 03-3451-3138

佛像彫刻・文化財保存修復

佛師 山本 肇老和

山本 肇老和

〒145-0063 大田区南千束3-28-5
TEL 03-3727-1122 FAX 03-3727-1122

仏壇・仏具

(株) 安田松慶堂

星野 家康

〒104-0063 中央区銀座7-14-3
TEL 03-3542-5771 FAX 03-3546-2140

増上寺謹製・三縁クッキー

(有) ポエム洋菓子店

安部 嘉祐

〒174-0046 板橋区蓮根1-18-11
TEL 03-3966-2324 FAX 03-3966-2398

音響・映像・NET配信

(有) ボブス

豊田 浩人

〒145-0067 大田区雪谷大塚町7-10-703
TEL 03-3729-5148 FAX 03-3729-5149



大本山
増上寺
御用達
百味講

創業寛政二年(1790年)八代目

(有) 石政石材店

眞田 貴志

〒108-0071 港区白金台4-5-7
TEL 03-3441-1483 FAX 03-3441-3156

葬儀・式典企画運営

富士典礼

山本 雅嗣

〒142-0042 品川区豊町4-3-17
TEL 03-5434-2210 FAX 03-5434-0860

思いとどける ころろ伝える。

(株) 日本香堂

小林 日出男

〒171-0014 豊島区池袋3-18-12
TEL 03-3973-7111(代) FAX 03-3530-1238

葬儀のご用命は
古い信用・新しいサービス

(株) 牧野総本店

豊島 洋子

〒108-0074 港区高輪1-21-1
TEL 03-3445-0506 FAX 03-3445-0508

お花で思い出を永遠に

(株) 花 幹

三須 健

〒143-0024 大田区中央8-31-11
TEL 03-3755-2120 FAX 03-3754-4687

懐石料理

(株) 味ごよみ一心

廣中 久見

〒105-0011 港区芝公園2-6-8
日本女子会館1F
TEL 03-3438-1041 FAX 03-3438-1044

旅のことならすべておまかせください

東武トップツアーズ 東京法人
東事業部

茂呂 政明

〒103-0025 中央区日本橋茅場町2-10-5
住友生命茅場町ビル2F
TEL050-9000-4246 FAX03-6667-0565

和菓子全般

芝神明榮太樓

内田 吉彦

〒105-0012 港区芝大門1-4-14
TEL03-3431-2211 FAX03-3431-2212



大本山
増上寺御用達百味講